

## みつめよう子どもの姿、考えよう子どもの現実

### タイで育つ子どもたちを、新たな豊かさへ繋げる 複言語・複文化の視点 第2弾

講師：館岡洋子氏

タイで育つ日本をルーツに持つ子どもたちは、国際結婚の子どもも両親が日本人の子どもも、複数の言語・文化を抱えて成長するという共通の状況があります。

当研究会では、タイで育つ子どものことばの成長を母語・継承語としての日本語の育成の視点で考えてきました。昨年は母語・継承語の枠を超える概念として複言語・複文化を取り上げ、子どもの中の複言語の状況と一緒に考えました。今回は、文化に焦点を当て、私たちと子どもたち双方の複文化の状況を参加者と共に考えます。

日時：**8月25日(土曜日)** 12:30～17:00

場所：国際交流基金バンコク日本文化センター  
(アソークサーミットタワー10F E教室)

<http://www.jfbkk.or.th/>

#### <当日スケジュール> (予定)

- 12:00 受付
- 12:30 複言語・複文化とは何か？
- 13:00 親子が感じるズレ・困惑  
エピソードを話し合おう
- 15:00 休憩
- 15:30 エピソードの意味を考える
- 16:30 複文化の可能性
- 17:00 終了

#### 複言語・複文化主義とは？

社会における複数の言語・文化の環境を多言語・多文化と呼びます。それに対し個人の中にある、複数の言語と文化を複言語・複文化と呼び、個人に注目する概念です。ワークショップではタイで育つ子どもそして、私たち一人一人の中に存在する複数の言語と文化の在り様を探り、複言語・複文化だからこそ生まれる能力の可能性を考えます。

対象：保護者、教師、子どもの成長と教育に関心のある全ての方 (定員 40名)

参加費：50 バーツ

問い合わせ及び申し込み先：[JMHERAT@gmail.com](mailto:JMHERAT@gmail.com)

締め切り：8月21日 (定員になり次第締め切らせていただきます)



昨年のワークショップの様子

#### ～<sup>たておか</sup>館岡洋子氏プロフィール～

早稲田大学大学院日本語教育研究科教授。早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士。専門は日本語教育学、言語教育学、教育心理学。1987年よりアメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、2001年より東海大学留学生教育センターを経て、2007年より現職。学習環境デザインの一人者として知られ、氏の提唱する「協働」は日本語教育現場の教室の概念を変えた。主な著書：『ピア・ラーニング入門—創造的な学びのデザインのために』ほか